

節	対戦相手	H/A	試合結果	談話（コメント）
1	試合なし			まず、今季もコロナ禍で厳しい状況の中、九州リーグが無事開催できることに心から感謝申し上げます。
2	熊本県教員蹴友団	A	○3 - 0	第1節に試合がなかったため、2日目の第2節が初戦となりました。 前半からチャンスは作れるものの、最後の精度が低く、なかなかゴールを奪えない展開が続きましたが、後半に先制。危ないシーンもありましたが、追加点を奪い、何とか初戦を勝利で飾ることができました。今季も熊本県教員蹴友団の粘り強い守備に苦戦しました。。ありがとうございました。 そして、九州サッカーリーグ関係者の皆様、沖縄県サッカー協会社会人委員会の皆様、準備・運営に携わっていただいた皆様、ありがとうございました。 今年度は九州リーグ2年目となりますが、優勝を目指して戦います！関係者の皆様、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。
3	川副クラブ	A	○5 - 0	第3節はアウェイで川副クラブとの試合でした。 開始1分で幸先よく得点できましたが、その後は攻撃の精度を欠き、得点を奪えず前半を終えました。 後半も大きくやることは変えず、多少の修正をして入りました。交代選手の活躍もあり、終わってみれば5-0での勝利。 相手の粘り強い守備もありましたが、終盤は序盤から打ち続けたボディブローが効いてきたかと思えます。 アウェイでの試合が続きますが、勝ち点を重ねていけるよう、次節に向けて準備します。 最後になりましたが、川副クラブの皆様、審判団、ボールパーソン、運営に携わっていただいた全ての方々、ありがとうございました。
4	海邦銀行SC	A	○4 - 0	第4節はアウェイで海邦銀行SCとの試合でした。 雨の降る中での試合でしたが、素晴らしいピッチを用意していただいたので、最高の環境で試合を行うことができました。 試合の方は、終始、元気な仲間監督の勢いに圧倒されましたが、 全体を通して、攻守において主導権を握り試合を進め、勝利することができました。 まだまだ不用意なミスなどから、ピンチを招くこともあったので、課題を修正して、次節のホーム開幕戦に挑みたいと思います。 最後になりましたが、海邦銀行SCの皆様、審判団、ボールパーソン、運営に携わっていただいた全ての方々、ありがとうございました。
5	KMGホールディングスFC	H	○3 - 1	第5節はホームでKMGホールディングスFCとの試合でした。 連勝を重ねること、無失点で試合を終えることを目標に試合に挑みましたが、結果的には1失点と試合内容も満足できるものではありませんでした。 選手達はひたむきにTRに励み、成長しています。 しかし、求めているレベルや目標がまだまだ先にあるので、そこを見据えて今後のリーグを戦っていきたいと思います。 最後になりましたが、KMGホールディングスFC、審判団、ボールパーソン、試合を運営するにあたって関わっていただいたの方々、 そして、今季初のホームゲームにお越し下さった多くの皆様、ありがとうございました。
6	BrewKASHIMA	A	○4 - 0	第6節はアウェイでBrewKASHIMAとの試合。 今節は怪我人やコンディション不良者が多く、メンバーも少なく総力戦となりました。 試合の方は、今季初スタメンの選手であったり、途中出場の選手が気持ちのこもったプレーをみせてくれ、結果も完封勝利となりました。 内容はまだまだ改善点も多いですが、チームと選手の成長を毎試合感じています。全員で高め合いながら、これからの上位陣との戦いに挑みます。 最後になりましたが、Brew KASHIMA、審判団、ボールパーソン、試合を運営するにあたって関わっていただいた皆様、ありがとうございました。
7	NIFS KANOYA FC	H	○4 - 2	第7節はホームでNIFS KANOYA FCとの試合でした。 前半の早い時間に得点を奪えたが、リードしてからの戦い方に少し不安があったので、ハーフタイムにその点は選手に伝えた。 後半に事後的な失点から相手の勢いに押され、追加点を奪ったが流れを断ち切れず、終盤に失点。勝利はしたものの、課題が多く残る試合となりました。これからの上位対決に向けて、もう一度気を引き締め直してトレーニングします。 最後になりましたが、NIFS KANOYA FC、審判団、ボールパーソン、試合を運営するにあたって関わっていただいた皆様、そして、会場までお越し下さった多くの皆様、ありがとうございました。

節	対戦相手	H/A	試合結果	談話（コメント）
8	FC延岡AGATA	A	● 0 - 2	<p>まず初めに、チーム内のアクシデントによって、今節の試合の日程が変更になったこと。多くの方にご心配、ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。申し訳ございませんでした。試合の方は、今季から九州リーグに昇格してきたFC延岡AGATAとの試合でした。TR期間が十分に確保できなかった中で、選手はできる限りの準備をし、戦ってくれました。結果は0 - 2で敗戦となりましたが、全てを受け入れ、成長していきたいと思います。目標達成に向けて、まだまだ足りないということをAGATAの皆さんに教えてもらいました。後期の対戦では必ずリベンジしたいと思います！！</p> <p>また、多くの観客、会場の雰囲気、子供たちの声援。素晴らしい環境の中で試合ができたことに感謝いたします。最後になりましたが、FC延岡AGATA、審判団、ボールパーソン、運営に携わっていただいた皆様、ありがとうございました。</p>
9	ヴェロスクロノス都農	A	● 0 - 2	<p>第9節はアウェイでヴェロスクロノス都農との試合でした。首位のチームに思い切りぶつかろうと選手を送り出しましたが、試合の入りも悪くなく、拮抗した試合展開となりました。しかし、後半に一瞬の隙をつかれて失点。さらに追加点。前節と同じような展開での敗戦。監督としての責任を感じます。2連敗となりましたが、諦めずに戦います。最後になりましたが、ヴェロスクロノス都農、審判団、ボールパーソン、試合を運営するにあたって関わっていただいた皆様、そして、会場までお越しくくださった多くの皆様、ありがとうございました。</p>
10	沖縄SV	H	● 0 - 2	<p>前期残り2節は佐賀での集中開催でした。10節は沖縄SVに0 - 2で敗戦。11節は日本製鉄大分サッカー部に1 - 0勝利と、2日間で1勝1敗。前期を4位で終えました。上位陣に勝てなかった事実を受け止め、課題解決に向けてトレーニングに励みます。</p>
11	日本製鉄大分	H	○ 1 - 0	<p>沖縄SV、日本製鉄大分サッカー部、審判団、ボールパーソン、運営に携わっていただいた方々、ありがとうございました。後期もどうぞよろしく願います。</p>
12	試合なし			<p>まず初めに、後期リーグが始まり沖縄集中開催ということで、多くの関係者の皆様が暑い中、運営を行っていただいたことに心から感謝いたします。試合の方は、レギュレーションで2日目のみでしたので、恵まれていたと思います。そのアドバンテージも活かして試合に挑みました。開始早々にCKから得点ができ、試合を優位に運ぶことができ、終わってみれば6 - 0での勝利でした。</p>
13	熊本県教員蹴友団	H	○ 6 - 0	<p>しかし、まだまだ攻守における課題であったり、隙や甘さが見られるので、その辺りは変えていけるようにまたTRで取り組みます。最後になりましたが、熊本県教員蹴友団、審判団、ボールパーソン、応援していただいた方々、ありがとうございました。</p>
14	川副クラブ	H	○ 1 - 0	<p>第14節はホームで川副クラブとのゲーム。前半から優位に試合を進めたが、得点を奪えず。後半に選手交代などで変化をつけたが、それでもなかなか決めきれない状況が続いた。そんな中、セットプレーから何とか得点し勝利。相手の粘り強い守備を崩せなかったことは大きな反省点。まだまだクオリティを上げるためにTRします！！</p> <p>川副クラブ、審判団、ボールパーソン、運営に携わっていただいた皆様。天候の悪い中、会場にお越しいただいた皆様。LIVE配信を行っていただいた社員の皆様。LIVE配信をご覧いただいた皆様。ありがとうございました。また次節もホームゲームとなりますが、よろしく願います。</p>
15	海邦銀行SC	H	○ 5 - 1	<p>第15節はホームで海邦銀行SCとのゲームでした。前半は前節の反省を活かし、トレーニングしてきたことを表現できたが、後半は得点差による安心からか、徐々に相手に押し込まれる時間が続き、ミスから失点。後味の悪い試合となりました。失敗と成功の積み重ねから学び、毎試合成長していけるように、またトレーニングに取り組みます。海邦銀行SC、審判団、ボールパーソン、運営に携わっていただいた皆様。会場にお越しいただいた皆様。LIVE配信を行っていただいた社員の皆様。LIVE配信をご覧いただいた皆様。ありがとうございました。</p>

節	対戦相手	H/A	試合結果	談話（コメント）
16	KMGホールディングスFC	A	○3 - 1	<p>第16節はアウェイでKMGホールディングスFCとゲームでした。 前半から主導権を握ってゲームを進めることができましたが、決定機を多く作り、得点を奪う。という部分はまだまだクオリティー不足でした。その中でも、綺麗なゴールではなかったが得点を奪えたことは成長した部分だと思います。危険な場所に侵入すること。ゴール前で足を振ること。このあたりの大切さを改めて感じました。 終了間際に失点してしまったことは、前節に続き、大きな反省点。満足せず、気を引き締めてトレーニングに励みます。 KMGホールディングスFC、審判団、ボールパーソン、運営に携わっていただいた皆様。会場にお越しいただいた皆様。 L I V E配信を行っていただいた社員の皆様。L I V E配信をご覧いただいた皆様。ありがとうございました。</p>
17	BrewKASHIMA	H	●0 - 1	<p>第17節はホームでBrewKASHIMAとゲームでした。 この試合で起こり得そうなこと。自分たちがやらなければならないことを想定して準備してきましたが、それも実らず敗戦してしまいました。サッカーの難しさを改めて実感しましたし、色々なことに気付かされた試合でもありました。 この結果を真摯に受け止め、次節に向かいトレーニングに取り組みます。 BrewKASHIMA、審判団、ボールパーソン、運営に携わっていただいた皆様。会場にお越しいただいた皆様。 L I V E配信を行っていただいた社員の皆様。L I V E配信をご覧いただいた皆様。ありがとうございました。</p>
18	NIFS KANOYA FC	A	○3 - 2	<p>第18節はアウェイでとNIFS KANOYA FCとのゲームでした。前節、非常に痛い敗戦をした中で、自分たちでこの状況を立て直せるか。強い気持ちをもって戦えるかが試される状況の中、結果として勝利することができましたが、まだまだ満足はできない内容でした。 一瞬たりとも隙を作らないこと。細かなディティールの部分にどれだけ全員が拘れるか。この辺りを突き詰めていきたいと思います。 次節から上位陣との戦いが続きますが、残り4試合、前期の借りを返せるよう、全力で戦います。 NIFS KANOYA FC、審判団、ボールパーソン、運営に携わっていただいた皆様。会場にお越しいただいた皆様。 L I V E配信を行っていただいた社員の皆様。L I V E配信をご覧いただいた皆様。ありがとうございました。</p>
19	FC延岡AGATA	H	○1 - 0	<p>第19節はホームでFC延岡AGATAとのゲームでした。前期に悔しい敗戦を喫してしまったので、今節は強い想いをもって挑みました。 選手達は試合の入りから、攻守において素晴らしいプレーを魅せてくれました。前半だけで言えば、今季1番の出来だったと思います。 しかし、後半は追加点を奪えず、途中から相手の攻撃を受けてしまったので、まだまだ改善の余地はあるというゲームでした。 ここからも上位との2試合が続くので、後期は必ずリベンジを果たしたいと思います。 FC延岡AGATA、審判団、ボールパーソン、運営に携わっていただいた皆様。会場にお越しいただいた皆様。LIVE配信を行っていただいた社員の皆様。 LIVE配信をご覧いただいた皆様。ありがとうございました。</p>
20	ヴェロスクロノス都農	H	●1 - 2	<p>第20節はホームでヴェロスクロノス都農とのゲームでした。 前節、厳しい戦いを勝利で終えることができ、今節も上位相手にどのような試合ができるか楽しみにしていました。 試合の方は、良い入りから先制点を奪えましたが、そこからは相手のシステム変更などになかなか対応できず、ミスから失点。セットプレーから失点し、悔しい逆転負けとなりました。試合の運び方、メンタル状態、拮抗した試合の中での判断や決断力。まだまだ甘いということを教わりました。 次節は首位の沖縄SVとの試合になりますが、成長した姿を見られるように、またTRに励みたいと思います。 ヴェロスクロノス都農、審判団、ボールパーソン、運営に携わっていただいた皆様。会場にお越しいただいた皆様。L I V E配信を行っていただいた社員の皆様。 L I V E配信をご覧いただいた皆様。ありがとうございました。</p>